

編集後記

今年は久しぶりに天候が平穏で稲の作柄もやや良から良と報告されています。敗戦直後の厳しい食糧事情の頃には、食べたくて食べたくて仕方がないのに食べ物が無く、稲の作柄の発表が非常に気になったことを思い出します。

本号は体育学部の皆様から原著論文4篇、実践研究1篇、研究報告1篇のご寄稿を頂きました。お忙しい中ご寄稿下さいました方々にお礼申し上げます。編集委員会では、実践研究と言う新たなカテゴリーを設け、体育実技の現場の研究を発表し易くすることと致しました。今後もこのカテゴリーへご寄稿下さいますようお願い申し上げます。今回は体育学部からのご寄稿が少なく、心配しておりましたところ、文学部の松村教授から大変興味深い研究資料のご投稿を戴き感謝しております。お蔭で論叢の体裁が整った次第です。

昨年は天災、人災、金融の不安の大変な年でしたが、今年は薬害エイズ問題に見られるように、患者の命を救うべき医師が患者を見殺しにし、国民の健康を守るべき厚生省がエイズを起こさせる血液製剤の使用を放置し、病を治す薬剤を作るべき製薬会社が病を起こさせる薬剤を作るなど、考えられないようなことによって、健康不安が大きくクローズアップされる年に成ってしまいました。スポーツを通じて健康増進を語ることを重要なテーマとしている体育学部の教職員にとって特に気になる問題です。今後この様なことを根絶すべく努力しなければならないと思います。年末には第2号の原稿を募集致します。振るって多数ご投稿下さいますようお願い申し上げます。最後にご寄稿下さいました諸先生と刊行にご協力戴きました体育学部センターの方々にお礼を申し上げますと共に、皆様のご発展を編集委員一同心から祈念いたします。(N. M.)

編集委員(ABC順)

木村吉次

松井信夫(委員長)

室伏重信

中京大学体育学論叢 第38巻 第1号

発行日 平成8年10月31日

発行所 中京大学学術研究会

名古屋市昭和区八事101の2

発行責任者 北澤正啓

印刷所 株式会社 クイックス

刈谷市幸町2-2

〒448 ☎(0566) 24-5511 (代)